

# 福島大学 教職大学院案内

大学院人間発達文化研究科教職実践専攻



## ふくしまの教育を支える ミドル・リーダーを育てる

福島の教育課題を認識し、新たな教育の探究により  
未来を創造する教員を養成する大学院

- ミドル・リーダー養成コース
- 教育実践高度化コース
- 特別支援教育高度化コース



授業力



新たな自覚



省察力



探究力

# 教職大学院とは？

学校現場の教育課題を研究し、その成果を地域や現場に還元していくことで、教員としての資質・能力向上を目指す大学院です。

福島大学教職大学院は、福島県教育委員会と教育課題を共有し、ふくしまの未来を創造する力を高めます。



## 福島大学教職大学院の特徴

**1** 自らの教員像と役割に応えるコース別カリキュラムで **いま学校現場にある課題解決を図ります**

**2** 大震災後の「福島県の教育課題」に応えるべく、現状を把握し **福島の未来を創造する独自の教育を創出します**

**3** 理論と実践の往還及び深化・展開・発展を保障することで **4つの資質・能力を育成します**

**いま学校現場にある教育課題**

- ・アクティブ・ラーニングの導入
- ・ESDを意識した環境教育の推進
- ・インクルーシブ教育
- ・放射線教育・防災教育の推進
- ・理数教育の充実
- ・道徳の教科化
- ・教育相談力の向上
- ・体力・運動能力の向上
- ・ICT教育の推進
- ・複雑化・深刻化する生徒指導
- ・グローバル化等への対応
- など

**福島の課題 世界的動向**

**ふくしまを生き抜く子どもたちに必要な力**

自ら学ぶ力 未来に伝える力 未来を創り出す力

自立した人間 グローバル・リーダー

**4つの資質・能力**

- 省察力 マネジメント経験を積みながら省察する力
- 授業力 高度な授業力
- 探究力 アクティブな理論的探究力
- 新たな自覚 新たな教職への自覚と強い責任感

新たな実践を可能にする

## 理論と実践の往還

チーム学校を牽引する	★ 「ミドル・リーダー」	学年・学校課題に対応する力
高度な教育実践力の修得	次 次「ミドル・リーダー」	学校課題への意識を高める
学校での教育実践力の修得	次世代 次世代の「ミドル・リーダー」	学校課題への意識を高める



学校現場における課題と必要な理論をいねいにつなぎ、PDCAサイクルをベースとして、課題の発展的な解決を目指します。また、ミドル・リーダーとして、これからの福島における教育を支える「真に学び続ける教員」としての資質・能力を育みます。

## 各コースの特徴

教職経験や自らの教員像と役割に合わせて、「ミドル・リーダー養成コース」、「教育実践高度化コース」、「特別支援教育高度化コース」を選択します。

### ミドル・リーダー養成コース

学年・学校経営課題への対応力を磨く



#### ★ ミドル・リーダーを目指す方

教職経験10年程度以上の方

自らの教育実践力(授業力、生徒指導力など)をもとに、学期、年間等の見通しを持ち、学年レベル、学校レベルの課題に対応する力や、学校マネジメント力を身につけたい方

### 教育実践高度化コース

基盤となる教育実践力を磨く



#### 次 次のミドル・リーダーを目指す方

教職経験3年以上の方

1~2校で教職経験があり、様々な実践課題が見え始めた方で、さらに高度な実践力または学校マネジメント力を身につけたい方

#### 次世代 次の世代のミドル・リーダーを目指す方

大学院進学を希望する学生の方

教員免許状(一種)取得見込みで、多様な現職教員と交流することを通じて、教育実践の課題を総体として理解し、学校教員としての自覚を持ちたい方

### 特別支援教育高度化コース

多様化に応える教育実践力を磨く



#### ★ ミドル・リーダーを目指す方

教職経験10年程度以上の方

自らの教育実践力(授業力、生徒指導力など)をもとに、学期、年間等の見通しを持ち、学部レベル、学校レベルの課題に対応する力や、学校マネジメント力を身につけたい方

#### 次 次のミドル・リーダーを目指す方

教職経験3年以上の方

障害の重度化・重複化に対応できる専門性の高い特別支援学校教員を目指し、学校マネジメント力または高度な実践力を身につけたい方

#### 次世代 次の世代のミドル・リーダーを目指す方

大学院進学を希望する学生の方

教員免許状(一種)取得見込みで、障害の重度化・重複化に対応できる専門性の高い特別支援学校教員を目指す方

## 教育課程

カリキュラムは、「共通5領域」、「選択領域」、「学校における実習」、「プロジェクト研究」に分かれています。また、理論と実践の往還を進める場であるラウンドテーブルに年2回参加・実践報告します。

科目領域		コース		
		ミドル・リーダー養成コース	教育実践高度化コース	特別支援教育高度化コース
理論	共通5領域 必修20単位	現代的な教育課題への基礎対応力を形成		
	選択領域 選択8単位	学校改革領域 学校マネジメント科目 学校改革科目	授業改善領域 教科横断型授業改善科目 各科授業改善科目	特別支援に関する理論と実践領域 特別支援に関する理論と実践科目
理論と実践の往還		ラウンドテーブル		
実践	プロジェクト研究 必修8単位	学校課題対応プロジェクト研究	授業実践高度化プロジェクト研究	特別支援教育実践プロジェクト研究
	学校における実習 必修10単位	学校課題対応実習(中堅現職学生)	長期インターンシップⅠ・Ⅱ(学部新卒学生)	教職専門実習Ⅰ(若手現職学生)

## 教職大学院での学びのイメージ

	1 年 生												2 年 生																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
共通5領域	●教育課程編成実践研究 ●授業づくりの理論と実際 ●生徒指導の事例研究 ●学校ガバナンスの事例研究 ●福島の学校と教育課題Ⅰ						●教材開発と教育方法の実践と課題 ●学校カウンセリングの事例研究 ●学校・学級づくりの実践研究 ●公教育の理念と教育改革						●学校と地域 ●福島の学校と教育課題Ⅱ																			
選択領域	●主体的な学びで育成するための理論と実践Ⅰ						●国語授業の理論と実践 ●生活科・総合的な学習の時間に関する理論と実践						●主体的な学びで育成するための理論と実践Ⅱ																			
プロジェクト研究	教育実践高度化プロジェクトⅠ				ラウンドテーブル				教育実践高度化プロジェクトⅡ				ラウンドテーブル				教育実践高度化プロジェクトⅢ				ラウンドテーブル				教育実践高度化プロジェクトⅣ				ラウンドテーブル			
学校における実習	●カファレンス												●カファレンス																			
	分散型モデル												分散型モデル(学部新卒学生を除く)																			

### ミドルリーダー養成コースの実習

- 教職専門実習Ⅱ**  
学校参観・教育委員会の訪問や学校でのジョブ・シャドーイングをおこないます。
- 学校支援実習Ⅱ**  
授業・学校行事等に参画しチーム学校のあり方を検討します。学部新卒学生のメンターも務めます。
- 学校課題対応実習**  
公開研究や校内研修の企画・運営に参加します。

### 時間割モデル

	月	火	水	木	金
1	理論	実践	実践	理論	実践
2	理論	実践	実践	理論	実践
3	理論	実践	実践	理論	実践
4	理論	実践	カンファレンス	理論	実践
5	理論	実践	実践	理論	実践

●理論 ●実践 ●カンファレンス

### 教育実践高度化コース(若手現職学生)の実習

- 教職専門実習Ⅰ**  
先進的な研究校を参観します。
- 学校支援実習Ⅰ**  
連携協力校の授業や学校行事等を支援します。
- 教育実践高度化実習**  
連携協力校でチームティーチングによる授業研究・提案授業等を実施します。

### 教育実践高度化コース(学部新卒学生)の実習

- 長期インターンシップⅠ・Ⅱ**  
教員の仕事を総体として理解するとともに、実践から課題を見いだします。

### カンファレンス(週間・月間)への参加

現場での実習や支援を振り返って大学教員からアドバイスを受けたり、学生や教員で事例検討をしたりします。



### ラウンドテーブルへの参加・報告

5~6名の小グループで報告し討論することで、教育現場での実習や支援を省察し、次の活動へと活かします。県内外からの参加者を募り、大規模に開催します。



## 教員紹介



准教授  
阿内 春生

### 研究テーマ

市町村議会を中心とした教育政策決定過程の研究

教職大学院では学校経営関連の授業も担当します！なじみのない分野と思わずに一緒に頑張らしましょう。



准教授  
秋山 了

### 研究テーマ

中学校数学科における「わかる・できる・おもしろい」授業展開と教材開発

中学校教職経験をもとに、教員の授業力向上の方略について考えています。ぜひ、一緒に授業力向上を目指しましょう！



教授  
内田千代子

### 研究テーマ

若者の引きこもり・自殺関連行動(特に発達障害に注目して)

精神科医師として、医療と教育の懸け橋となるような支援を目指しています。一緒に考えていきましょう。



特任教授  
鶴沼 秀雅

### 研究テーマ

小学校社会科教育の理論と実践研究

現場で悩み多い社会科教育における理論や実践を探究しましょう。



特任教授  
大関 彰久

### 研究テーマ

社会の変化に対応した特別支援教育のあり方

これまでの経験を基に、共生社会の形成に向けた特別支援教育の更なる充実と発信に力を注ぎたいと思います。



特任教授  
太田 光一

### 研究テーマ

西洋近代の教育思想史、特にコメニウスの教育思想・哲学思想の研究

外国の教育の歴史を概観するたびに、日本の教師が優秀で熱心であることを実感します。それに比べて国の財政援助が少ない。



特任准教授  
北川 裕子

### 研究テーマ

保健体育科における理論と実践研究

高校教員経験を基に、理論と実践の統合を図り、問題解決や授業改善をする力をつけるように考えています。



特任教授  
齋藤 幸男

### 研究テーマ

学校経営に関する実践的研究

今学校改善が求められています。どの子も思う存分学べる学校・学級づくりを学校現場とともに探究します。



准教授  
坂本 篤史

### 研究テーマ

教師の学びを促す授業研究のあり方

授業実践の分析と教師の学びについて研究しています。授業の事実から共に学んでいきましょう。



特任教授  
佐藤 和彦

### 研究テーマ

国語科学習指導法の研究／カリキュラム・マネジメントと学校経営

新たな福島教育創成に向けて、「震災体験が切り拓いていく教育」について共に考えていきましょう。



特任准教授  
芝田 直久

### 研究テーマ

社説・コラム等の授業での活用、スピーチや実用英語の研究

英語を話すためには、文法等の英語そのものの知識だけでなく、様々な分野に興味を持ち、知識をたくさん増やすことが大切です。



特任教授  
嶋 英治

### 研究テーマ

音楽科教育における「知覚・感受」を基にした指導法の研究

言葉が感性を高め、高まった感性が実践に豊かさをもたらし、言葉が成長します。共に「理論と実践の往還」の喜びを！



特任教授  
高橋 正人

### 研究テーマ

高等学校における国語科教育に関する指導法についての研究

生涯にわたる学びの礎となる「考えること」と「表現すること」の楽しさを国語科の授業にもたらしたいと考えています。



教授  
谷 雅泰

### 研究テーマ

明治期地方教育行政史／デンマークの教育

公教育とはどうあるべきか、歴史や外国の事例から考え、実践の基盤になる教育観を鍛えましょう。



教授  
鶴巻 正子

### 研究テーマ

知的障害や発達障害のある子どもの読み書き支援の実践的研究

特別支援教育のさらなる発展と指導力向上をめざし、ニーズのある子ども達への支援と一緒に考えましょう。



特任教授  
野崎 修司

### 研究テーマ

小学校理科における指導法の研究及び教材開発

理科教育を窓口に、主体的な学びについて実践的に研究を推進することで、教育についての深い理解を目指しましょう。



教授  
浜島 京子

### 研究テーマ

子どもの家庭生活とその教育

低学年からの家庭生活学習及び家庭科の内容やその在り方に関心をもっています。一緒に考えていけたらと思います。



教授  
松下 行則

### 研究テーマ

インテグレイティブ・シンキング、『学び合い』、カルタでつくる道徳授業の研究

学級経営や生徒指導を視野に入れた道徳科授業づくりを通して、「すべての子どもの価値観が尊重される」学校を実現しましょう。



准教授  
宗形 潤子

### 研究テーマ

子どもの主体性・学びに関する研究／生活科における砂遊びについての研究

現場の先生方と子どもの学びや授業について一緒に悩み、考え、よりよいものを目指しています。仲間となつて一緒に学びましょう。



教授  
森本 明

### 研究テーマ

算数・数学の授業とカリキュラムの構成

思考する楽しさを伝えたい。その実現には実践をふまえた教材や授業の研究が必要かつ重要だと考えています。

## 在学院生の声



### 教職大学院という魅力

ミドル・リーダー養成コース 2年  
(郡山市立橋小学校籍 現職派遣院生)  
芳賀 裕

福島大学教職大学院の理念として「理論と実践の往還」というものがあります。教職大学院は、理論と実践を行き来しながら学ぶという学校現場に根ざした学びの場です。校種も年齢も様々な現職派遣の院生と学部卒の若い院生の皆さんとの講義での発表や議論、学校実習を通じた学びは、理論とともに新たな知見や気づきを得る機会となります。連携協力校における実習は、大学院生という立場で改めて学校を見つめ直すことで、子どもの学びを見る目、授業を見る目、学校を見る目を養うことにつながります。このような「理論と実践の往還」を通して、現場に戻ったときに実践に活用できる柔軟な新しい見方・考え方を獲得し、現場にいる時とはまた違ったステップアップを実現できるということが、教職大学院で学ぶ大きな魅力の一つだと感じています。



### 「見る目」を養える深い学びの場

教育実践高度化コース 2年  
(福島大学卒 学部卒院生)  
猪野 令奈

昨年度、教職大学院で過ごした一年間は、深く濃い学びのある有意義な時間でした。教職大学院は、学校現場における実習での学びを重視しているため、実際に自分で参観したり実践したりすることによって抱いた疑問や関心について研究を進めていくことができます。私自身、一年間の学校での実習を通して、多くの疑問や興味が生れました。今自分が抱いている疑問を解決するためにどうすればよいのかを考えたり興味あるものを追究したりすることは、教師として大切な姿勢であると思います。そしてこのような様々な視点から「見る目」を養うことができるのが、教職大学院の魅力であり、よさであると思えます。見る目をしっかりと持ち、それを生かしながら、目の前の子どもたちと真剣に向き合うことのできる教師を目指し、教職大学院での日々の学びを大切にしていきたいです。

## 福島大学 教職大学院Q & A

### Q1

今までの大学院修士課程との違いは何ですか？

大きな違いは、学校現場を通して高度な実践力を身につけることを目指していることです。

### Q2

修士論文は書くのですか？

修士論文の提出は求めません。代わりに、日頃の実践を理論的にみつめて省察した成果をまとめた実践報告書を作成します。

### Q3

学校における実習はどこでやることになるのですか？

大学近郊の連携協力校(附属学校を含む)で実習を行います。

### Q4

プロジェクト研究は、小・中・高・特別支援等の校種や教科などは、自分の希望するもので取り組めるのでしょうか？

はい。自身が希望する校種、教科での実施が可能です。実施テーマについては、実習校とのすりあわせが必要となります。

### Q5

教職大学院の施設や設備等、学習環境はどのようになっていますか？

大学ではPCタブレット、プロジェクター等のICT環境が整備された共同スペースがあり、専用の机が貸与されます。もちろん学内の図書館も利用可能です。

### Q6

教職大学院に入学する前や在学中に教員採用試験に合格した場合、採用名簿登録期間を延長してもらえますか？

福島県教育委員会では申請により、在学期間(2年間)について採用名簿搭載期間の延長が可能です。手続き等は教育委員会にお問い合わせください。

## 取得できる学位・免許

教職修士(専門職)の学位が2年間の課程で取得できます。  
以下の専修免許状が取得できます。

- 幼稚園教諭専修免許状
- 小学校教諭専修免許状
- 中学校教諭専修免許状 (国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
- 高等学校教諭専修免許状 (国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語  
農業、工業、商業、水産、福祉)
- 特別支援学校教諭専修免許状 ※特別支援教育高度化コースのみ
- 養護教諭専修免許状
- 栄養教諭専修免許状

## 募集概要

※内容は予定であり変更する場合があります

### 求める学生像(アドミッションポリシー)

地域の教育課題について理解を深め、幅広い視野を備えるとともに、授業力、マネジメント力など高い実践力を身につけ、常に学び続け、教育課程の改善や学校改革をけん引する教育のミドル・リーダーをめざす学生を求めます。

### 募集人数と選抜方法

詳細は、大学webサイト及び学生募集要項をご覧ください。

■ **募集人数** 16名(うち現職教員8名程度)

■ **出願資格** 大学を卒業した者(卒業見込みの者)で、教員免許状(小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護・栄養の普通免許状一種)を取得(見込みを含む)している方

#### ■ 選抜方法

一般入試

**対象**：出願資格を有している方  
**検査項目**：小論文、学習履歴レポートに基づく面接(口述試験を含む)、出身大学(学部)の成績証明書

現職教員  
特別入試

**対象**：出願資格を有し、出願時まで3年以上の教職経験及び出願年度内に勤務実績のある方  
**検査項目**：実践記録レポート、面接(口述試験を含む)

学類生  
特別  
入試

**対象**：出願資格を有し、以下に該当する方  
● 福島大学人間発達文化学類を卒業見込みである  
● 卒業研究指導教員による推薦を得ている  
● 実践研究の課題が明確で卒業後の入学を確約できる  
**検査項目**：学習履歴レポート、成績証明書、面接(口述試験を含む)

### 学 費

入学科 282,000円

授業料 535,800円(年額)

※福島県教育委員会派遣の方は入学科の半額を免除します。

お問い合わせ



人間発達文化学類 支援室

〒960-1296 福島市金谷川1番地

TEL 024-548-8101 FAX 024-548-3181